

平成28年度当初予算の概要

3月10日から同月17日まで会期8日間で開催した平成28年第1回町議会定例会で28年度東川町予算案が可決され、一般会計など3つの会計で予算案の通り執行されることとなりました。予算概要は次のとおりです。

一般会計は71億6900万円で前年度第1号補正後の予算と比較して8億2,984万円、13.09%増、特別会計総額では5億9,510万円で年度当初予算の比較で4,310万円、7.81%増となりました。一般会計、特別会計の合計では77億6,410万円(前年度当初予算比較8億7,294万円、12.67%増)となりました。

- 一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算
- 特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

■一般会計・特別会計当初予算額

単位:千円

会計区分	本年度(H28)	昨年度(H27)	伸び率%
一般会計	7,169,000	6,339,155	13.09
公共下水道事業	170,900	192,200	▲ 11.08
国保町立診療所	424,200	359,800	17.90
特別会計(合計)	595,100	552,000	7.81
総合計	7,764,100	6,891,155	12.67

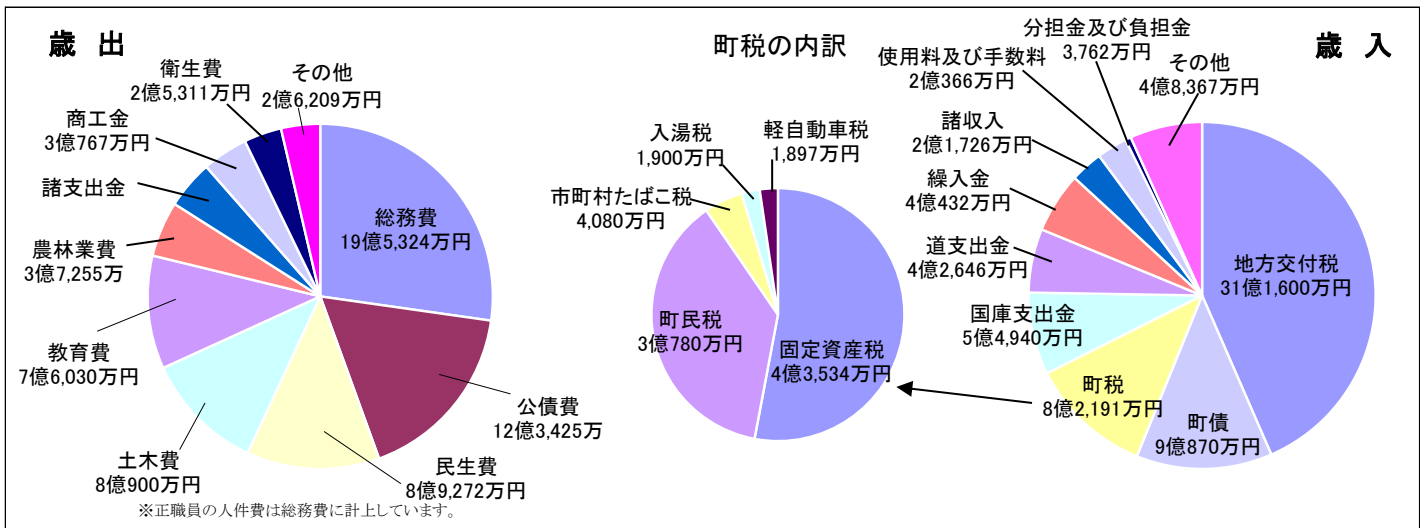
■一般会計における予算の特徴

予算編成にあたっては、「新まちづくり計画 プライムタウン21-II」及び地方版総合戦略である「写真文化首都東川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の計画に基づき、各種補助金や交付金の活用と交付税措置や有利な町債の確保を視野に、その財源確保に努めました。

本年度予算における主要事業は、地方交付税算定の基礎数値となる国勢調査の人口が増加したことを受け、財源増加相当分を子育て支援や高齢者の健康・保養の維持増進施策に重点配分するとともに、住民が安心して暮らすための環境づくり(ダム機能)と国内外からの交流人口の拡大により、定住に結び付ける対策(ハブ機能)を重点的に講ずることにより、人口の維持・確保に向けた施策を展開します。

投資的事業については、写真文化首都創生館(図書館機能を有する老若男女の複合交流施設)の設計、改善センター大規模改修、いきいき農園整備事業、社会資本整備総合交付金事業(道路改良・公営住宅・公園整備・雪寒機械整備等)などのハード整備事業を実施します。

ソフト事業では、疾病・介護予防と医療の一体的な運営を図るため、保養施設等を利用した介護予防講座などを定期的に開催するとともに、診療所との連携を強化して後期高齢者外来患者の医療費無料化や高齢者の足の確保対策を強化、子育て支援対策は、幼児センターにおける一時保育の充実や各種学習支援員の充実と国際化や外国籍児童に対応した人員配置、中学校での少人数指導の充実を図ります。さらに、地域自治活動に対する活動支援を強化するとともに、一時移住や観光振興、留学生支援などの継続により、交流人口を移住・定住や地場消費拡大と産業振興に結びつくような施策を展開します。



■27年度の主な投資事業

【投資的事業】

- 写真文化首都創生館(図書館)整備事業63,910(社会資本整備交付金)
- 西部地区コミュニティ公園整備事業45,000(社会資本整備交付金)
- いきいき農園(仮称)整備事業47,600(辺地債事業)
- 旭岳地区飲雑用水施設整備工事37,660(辺地債事業)
- 南町1丁目団地1・2号棟整備事業76,228(社会資本整備交付金)
- 除雪トラック(10t級他)購入事業54,800(社会資本整備交付金)
- 改善センター大規模改修工事184,500(地域づくり総合交付金)
- 橋梁長寿命化修繕事業35,000(社会資本整備交付金)
- 西10号道路改良事業100,000(社会資本整備交付金)
- 第34飲料水供給施設整備事業6,800(辺地債事業)